



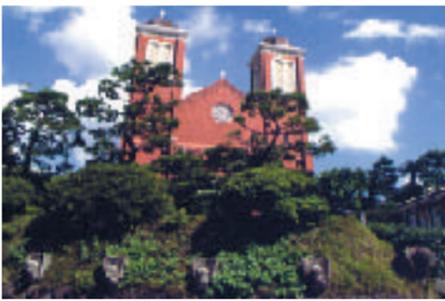
都市と田園が画然としたヴァッサーブルグ ドイツ・ミュンヘン近郊



大正期 欧米の穀物相場を左右した歴史的な運河の街 小樽



明治期 東西文明の十字路口と称された国際的な街 函館



江戸期 海外との窓口の機能を果たした街 長崎

伴 日本はアメリカとか東南アジアと比べて、スラムとか危険なところが少ない佃でも整然とこざれいに住んでおられますよね。地震災害に対して最低限の安全は確保する必要はあると思いますが。治安という意味では、日本は世界一安全でした。しかし、ちょっと状況が変わってきています。若い女性が一人で歩けない年寄りの家が襲われるとか治安の問題が大きくなくなってきているので、これもまちづくりでは大事なテーマになりつつあります。

三田 どのように改善しようとなさっているんですか。

伴 オフィスや住宅に構造的に侵入できないようにする、警報装置などのハード面の手当てをまずする。

三田 啓発や情報が大切ですよね。

伴 おっしゃる通り、実はソフト対策がより重要ですね。昔は近所付き合いをきちんとかやっていた、異変に対してお互い

に気をつけようという暗黙の約束事がありました。今はコミュニティが壊れていきますよね。近所の目がとどくよう、挨拶したり情報交換したりという近所づきあいの基本が大事になってきました。

三田 「こんにちには」と言える人をつくっておく事ですね。特に集合住宅ではねこの前犬を散歩に思ったら夜12時頃で犬が乗れるエレベーターが点検中だったんです。違反かもしれないけど犬の乗れないエレベーターに夜だからいいかなと思ったらそれも止まっています。あとは階段を下りていくと怖いんです。これが災害だったらと思うと恐ろしいと思いました。足が悪い人とかお年寄とかはね。

三田 サンフランシスコに1ヶ月ほど住んで、そこを拠点にあちこち旅行しました。学んだことは地球の一点だけを見てあくせく考えるのではなく、ひろく全体を見ようという意識が生まれたことですね。都市のなかに建物がどんどん建っていくますが、世界的にみるとロッキーマウンテンとか草原と海とが、どうにも建物が建てられないところがある、だから全体として地球が保たれているんだと思いたした。都市をつくっていく上でも何も建てない場所、そういう空間を残すことも大切なことだと思っただけです。

三田 町村合併がありましたね。3300あった市町村が1800になる、そうすると3・4ヶ所あった街の中心も1ヶ所に収斂してくる。

三田 そこに長く住んだ人は気持ちの揺れがあるでしょうけど。住めば都で、日本全体を守るという視点からその考え方は大事になってくるんじゃないかな。

伴 強制しなくても自然にそういう方向に向かっているんじゃないかな。

市民としての発信 公的機関としての発信

三田 全体を見ていい方向へという都市機構の考え方を、住んでいる人たちに知っていただくことが前提でしょうね。強制的ではなく。

伴 早い成功例を示すことですね。問題点を解決しながら、モデル版の都市

再生を編みだして皆さんに見ていただくのがいいでしょう。それにしてもプロデューサー役はなかなか地味な仕事です。縁の下の力持ちなんです。我々のやっている仕事が一般の皆さんに見えにくいのです。

三田 見えないとだめなんです。見えるようにやっていたらだめなんです。

伴 実力をつけて実績を積み上げ、実例を豊富に示さなければと思います。我々の組織は絶えず存在意義を問われていますから。

三田 それにはやっぱりおやりになつていって示さないといけないのですよ。説明責任というのがありますよね。郵政の問題でもそうですが、民営化すればいいんです。具体的にどこがよくて、多少の痛みがあってもあとで報われると行ってくださればいい、言わないと疑われちゃうから堂々と行っていただきたいですね。



弘前城址燈籠まつり 二百基の武者絵の入った燈籠やかまくらが並ぶ 弘前



弘前郷土文学館 明治期建築の旧市立図書館 弘前

伴 自作自演だと疑われちゃうから(笑)。上手に誰か第三者の方に言っていたらいいのも大事なんじゃないかな。

三田 日本橋のこともいつだったか、日本橋保存会の人たちと鼎談した時に、自然な思いとして、「高速道路をとって欲しい。」と口走つたら(笑)、それが活字になって急に機運が高まったって聞きました。

三田 やっていることをキチンと見せていただくUR都市機構は税金を無駄に使ってない認識されます。すごく大事なことです。

三田 ところでどんな都市がいいとお考えですか。



明治期に建設された赤レンガ倉庫 内部はモダンな空間に改修 横浜



破風の外観が特徴の歌舞伎座 建替えが検討されている 東銀座

三田 ええ、「日本橋物語」パート3は日本橋を素材にしてお話をづくり、日本橋の認識を高めるといって、みなさんの声があつてやることになったんです。私たちが芝居をやる、都市機構は事業の環境を整えていただく、それぞれが別々にやるのではなくて、総合的にやる時代だと思えます。

三田 外国の方が来たときどう感じるか、生活の匂いがする、活気がある。蜜を求めるといって歴史であつたりで、京都や奈良もいいですが、外国と交流があつた函館とか長崎、神戸にいつも新しいものが生まれました。「いのち」というテレビドラマの口で1年間通つた津軽の弘前もいい街ですね。りんごの花のきれいな時期とか豪雪でしばらくの冬とか、四季こもこもというこぼれがびつたり街です。

三田 他にはない特色があるというのがなによりも大切ということでしょうか。なかでもやっぱり原点に戻って歴史ですかね。外国に行くとき昔ここにビルがあつたと壁だけ残っていたり、線だけ引いてあ

あるから、住まいや集落も支えあうことができます。森林を壊されると災害の原因にもなりますね。

伴 外国の街は、街と田園のメリハリが効いています。コンパクトに住み、周辺は田園が広がってとてもきれいですよね。ところが日本の場合はどこでも宅地化できる、水が簡単に得られる、地盤の状態がいいということ、だらしない街が広がっている。メリハリがない。しかし郊外に住んでいるお年寄りが、駅のそばや街の中心部の商店や病院や公共施設の揃った所に引越してくる現象が地方でも起きています。だんだんと人が住む所はコンパクトにまとまり、郊外は田畑に戻していくことになってきますね。

三田 人間の方が動いて、その人にとって便利なのに住まうということですね。

三田 町村合併がありましたね。3300あった市町村が1800になる、そうすると3・4ヶ所あった街の中心も1ヶ所に収斂してくる。

三田 そこに長く住んだ人は気持ちの揺れがあるでしょうけど。住めば都で、日本全体を守るという視点からその考え方は大事になってくるんじゃないかな。

伴 強制しなくても自然にそういう方向に向かっているんじゃないかな。

市民としての発信 公的機関としての発信

三田 全体を見ていい方向へという都市機構の考え方を、住んでいる人たちに知っていただくことが前提でしょうね。強制的ではなく。

伴 早い成功例を示すことですね。問題点を解決しながら、モデル版の都市

つたり色々工夫して歴史を残す涙ぐましい努力をしています。現代は補強する技術も発達しています。横浜の赤レンガ倉庫などは外はそのままだに補強してありますが、中へ入ると別構造の建物で近代的な内装になってます。

三田 先ほどの銀座ですけど、やはり築地の存在が大きいですね。東京の生活の匂いが立ちこめていて、私なんか散歩に出かけておいしいお寿司をつまんだり、それでいておしゃやれな銀座にふらつと立ち寄れる。しかし魚市場は移転するそうですね。

伴 せめて場外市場があつた場所に残るといいですね。

三田 歌舞伎座もリニューアルするそうですが外観は残して欲しい、銀座の多様な顔のひとつです。

伴 都市にも色々なメニューがあるから楽しいし、いきいきします。三田さんが銀座がすばらしいとおっしゃるのには、すぐ南に佃があり築地があり、北には日比谷や丸の内があつて、歩ける範囲に実に多様な個性の街が連担していることだと思えます。それは大都市でも地方の都市でも同じで、画一的でなく、多種多様な要素が可能な限り複合している街、それが蜜のように人を誘い出し、それぞれの人を輝かせる街になるのだと思つてます。それには三田さんのように市民の視点から思いを発信していただくことが大切だし、我々にとつても勇気づけられることなんです。まず、「日本橋」で大きいに発信していただいて(笑)。我々もおっしゃっていただけたらいいように、縁の下の力持ちながら大いにその役割を多くの方に知っていただけて、皆さんといっしょにすばらしい都市を創造していきたいと思えます。